

プログラム名 『線で遊ぼう』

季節

春	夏	秋	冬	イベント
---	---	---	---	------


対象

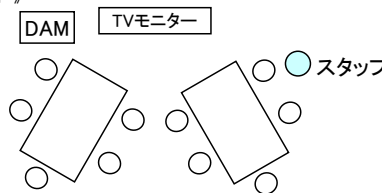
一時予防対象者	二次予防対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
---------	---------	------	------	------	------	------



人数 10人程度

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな線の表情や組み合わせを楽しむ。 ・参加者が自ら選択、決定しながら制作をすることで、脳を刺激する。 ・制作後も生活の中で使用したり、プレゼントしたりすることで周囲とのコミュニケーションを楽しむ。
----	--

使用材料		名称	必要数	備考
		マスキングテープ	全13種	カモ井紙加工(株)
		未晒しコースター(角)	1人1枚~2枚	アスクル
		はさみ	1人1本	工作用はさみで可
		筆ペン(濃墨)	1人1本	墨運堂:慶事用
		筆ペン(薄墨)	1人1本	墨運堂:吊事用
		A4コピー用紙	1人1枚	

事前準備		<ul style="list-style-type: none"> * マスキングテープは、予め15cm程度の長さに切り、クリアファイルに貼り付けておくと、色や柄がわかりやすく、複数名で行う場合でも、無理なく実施することができます。 * マスキングテープ、見出しコースター、筆ペンは、指定のものを事前に用意してください。
------	---	---

会場レイアウト	<p>《 配置例 》</p> 	<ul style="list-style-type: none"> * モニターが無理なく見られるようにテーブル、イスを配置。 * モニターが遠すぎると画面が見づらくなるため注意。 * 椅子は、参加者の間に入って声掛けができるよう、適度なゆとりをとって配置する。
---------	---	---

画面表示の見方		このコンテンツには、オートリピート機能が採用されています。このマークがついているチャプターは、最大120回リピートされますので、参加者の状況に合わせて【DAM】ボタンを押し、次の手順へ進みます。
		画面で制作手順のポイント解説を行います。できるだけ画面を見てもらえるように声掛けしましょう。

進め方のポイント	マスキングテープを貼る本数、墨の線を書き加える本数は、1本ずつでも大丈夫です。参加者ご本人に選んでいただく、決めていただくことが大切です。急がせることなく、参加者のペースに合わせてできる範囲から行いましょう。
----------	--

所要時間

60分

内容	使用材料	画面表示	実施のポイント	声掛け	
導入					
	10分	完成作品(例)の紹介 完成作品の使用例紹介	 作品について話をしながら参加者を席まで誘導しましょう。 ※リピート 全員が揃ったら【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。 ※スキップ 【DAM】ボタンを押すと、次の手順へスキップします。 タイトル 「線で遊ぼう」	「〇〇さんは何に使いたいですか？」 「何でできているんでしょうね？」	
制作1: テープの線を楽しむ					
	20分	使用する素材を手にとって観察します。	・未晒し コースター(角)	直接触ってみることで、これから使う素材に興味を持てるよう声をかけましょう。	「どうぞ触ってみてください」 「触り心地はどうですか？」
		マスキングテープ はさみ	 気に入ったテープを選んでみましょう	「どうでしょう選べましたか？」 ※一時停止 選べていない場合には【一時停止】ボタンを押し、選べるよう声掛けを行う。	「一番使いたいものを1つ選んでみましょう」
			こちらをご覧ください 1本、貼ってみましょう	 ※リピート 9割方貼れていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。	「まずはやり方を見てみましょう」
			 合わせたいテープを選んでみましょう	作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて貼る場所を決めていただきます。	「皆さんも1つ選んでみましょう」
			こちらをご覧ください 2本目を、貼ってみましょう	 ※リピート 9割方貼れていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。	「では2本目も貼ってみましょう」
	こちらをご覧ください 3本目を、貼ってみましょう	 ※リピート 9割方貼れていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。	「最後にもう一本貼ってみましょう」		
制作2: 墨の線を楽しむ					
	20分	筆ペンで線を書く練習をします。	・筆ペン(2種) ・A4コピー用紙	画面に合わせて一緒に練習を行いましょう。	「皆さん一緒にやってみましょう」
		筆ペン(2種)	こちらをご覧ください 1本、線を書きましょう	作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて書く場所を決めていただきます。	「まずはやり方を見てみましょう」 「では一本書いてみましょう」
			こちらをご覧ください 2本目の線を書きましょう	線を足したい方のみ書き加えていただくようしましょう。無理に書く必要はありません。 ※リピート 9割方書けていたら、【DAM】ボタンを押し、次の手順へスキップします。	「もう一度画面を見てみましょう」 「ではもう一本書いてみましょう」
鑑賞してみよう					
	10分	完成作品を見ながらコミュニケーションを楽しみます。		全員で作品を囲みながら話を楽しみましょう。 ※可能な場合には席を立てて一箇所に集まるようにすると、会話しやすいでしょう。	線の勢いや色合いなど、それぞれの作品のよい部分、何に使いたいが等話し合ってみましょう。